

製品名: リン酸化ヒストン H3 (Thr3) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00674

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15 kDa

抗原情報

遺伝子名	H3-3A
別名	H3F3; H3.3A
遺伝子 ID	3020
SwissProt ID	P84243
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

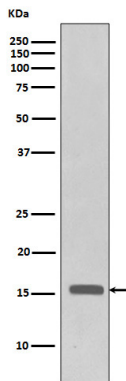
H3 ヌクレオソームのコア成分。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

アクセスを制限します。これにより、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAのアクセス性は、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されます。

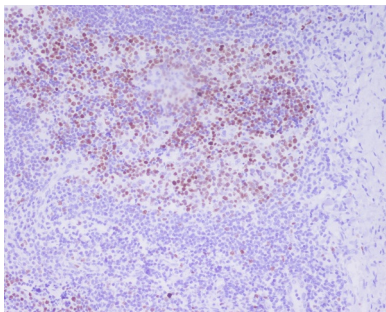
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



FBS + カリキュリン A で処理した HeLa 溶解物中のリン酸化ヒストン H3 (Thr3) をリン酸化ヒストン H3 (Thr3) 抗体を使用してウエスタンブロット分析しました。



リン酸化ヒストン H3 (T3) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。